

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書


- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立向洋中学校】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・Ⅳ・Ⅴ（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生徒（158名） 第1学年（46名）第2学年（54名）第3学年（58名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（保健体育） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	パラリンピック競技である「ボッチャ」を体験することでパラリンピックの意義を理解し、障害のあるなしに関係なく誰もが気持ちよく楽しくスポーツに関わる心を養う。
5 取組内容	○オリンピック・パラリンピックに関するアンケート調査を実施。 ○保健体育教師が、オリンピックやパラリンピックの意義、歴史について、また、今年度開催されたオリンピック・パラリンピックの紹介を行った。 ○ボッチャの歴史・ルールについて調べる。 ○ボッチャについての説明・体験



	<p>○学年毎にボッチャ大会を行う。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>○オリンピック・パラリンピックに対する関心を高め、応援したいという気持ちをもつことができた。</p> <p>○障がいのある方と共生するために、自分には何ができるのかを考える機会になった。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○事前にボッチャについて調べ学習を行い、生徒が興味関心を持つようにした。さらに実際のボッチャの動画を見ることでどのような競技かイメージをもてるようにした。</p> <p>○ボッチャをするだけでなく、クラス対抗で大会を行うことで「する」だけでなく、「見る」「支える」という立場で関わることができるようにした。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○オリンピック・パラリンピック教育を保健体育科に限らず、他の教科にどのように関連させるかについて考え、計画的に実践していく必要がある。</p> <p>○パラリンピック競技の道具の準備。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○今年度は「体験」をテーマに取り組みを行った。来年度は、講師の方を招聘し、オリンピック・パラリンピックの魅力がさらに伝えることができるようにしたい。</p>